

## 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月9日

上場会社名 アネスト岩田株式会社

上場取引所 東

コード番号 6381 URL <https://www.anestiwata-corp.com/jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 深瀬 真一

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 入部 貴義

TEL 045-591-9344

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	12,175	21.8	1,269	54.7	2,001	54.9	1,376	70.2
2023年3月期第1四半期	9,999	9.9	820	8.1	1,291	15.9	808	15.5

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 2,026百万円 (5.7%) 2023年3月期第1四半期 2,149百万円 (24.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	34.01	
2023年3月期第1四半期	19.96	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	60,461	46,033	67.5
2023年3月期	60,136	45,255	66.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 40,836百万円 2023年3月期 40,025百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		16.00		22.00	38.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		17.00		23.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,700	13.6	2,780	18.8	3,240	4.6	2,000	1.3	49.21
通期	51,800	6.8	6,100	4.5	7,100	0.8	4,407	0.6	108.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	41,745,505 株	2023年3月期	41,745,505 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,278,652 株	2023年3月期	1,278,572 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	40,466,913 株	2023年3月期1Q	40,514,963 株

当社は、2020年3月期より業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」を導入しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益の算定において、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても、百万円単位に変更して記載しております。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績及び財政状態に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

## ①概要及び経営成績

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧米各国における高水準なインフレ率の推移や金利の引き上げ、金融システム不安の拡散などにより、停滞感が強まりました。日本経済におきましては、このような世界情勢の中においても、サービス消費やインバウンド需要の拡大、設備投資意欲の改善などにより緩やかな回復傾向となりました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高12,175百万円（前年同四半期連結累計期間対比21.8%増）、営業利益1,269百万円（同54.7%増）、経常利益2,001百万円（同54.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,376百万円（同70.2%増）となりました。

（ご参考値）事業部別の状況

（単位：百万円）

事業部 (製品区分)	当第1四半期連結累計期間 2023年4月1日～2023年6月30日	
	連結売上高 (前年同期増減率)	連結営業利益 (前年同期増減率)
エアエナジー事業部	7,543 (23.6%)	626 (24.0%)
圧縮機	6,798 (21.7%)	
真空機器	745 (43.9%)	
コーティング事業部	4,632 (18.9%)	643 (104.0%)
塗装機器	4,281 (14.9%)	
塗装設備	350 (105.1%)	
合計	12,175 (21.8%)	1,269 (54.7%)

（注）事業部別の連結営業利益は、当社グループ独自の基準により算定しております。

## ②セグメントの業績

当社グループで採用しております所在地別のセグメントの状況は以下のとおりです。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記- (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」の（セグメント情報等）をご参照ください。

## 日本

売上高は6,241百万円（前年同四半期連結累計期間対比23.6%増）、セグメント利益は770百万円（同57.1%増）となりました。利益の増加は、主に圧縮機の販売増加などによるものです。

圧縮機製品では、堅調な企業の設備投資意欲に支えられた汎用圧縮機の需要拡大に加えて、医療向け及び美容向けオイルフリー圧縮機の売上が伸長しました。

真空機器製品では、半導体製造関連装置向けの需要が回復傾向にあり、売上が伸長しました。

塗装機器製品では、工業塗装市場向けをはじめとしたスプレーガンの需要が好調に推移したことやWEB商談を活用した環境装置の受注が増加したことから売上が伸長しました。そのほか、電気代や物流コストなどの上昇を受け、10月1日以降の受注分より値上げを決定しております。

塗装設備製品では、自動車部品塗装向け塗装設備を中心に前期からの受注残分を着実に納入したことで売上が伸長しました。併せて、自動車部品製造以外のお客様に向けた受注獲得の活動に注力しています。

## 欧州

売上高は2,350百万円（前年同四半期連結累計期間対比31.3%増）、セグメント利益は324百万円（同138.4%増）となりました。利益の増加は、主に塗装機器の販売増加や2017年に買収した子会社ののれんの償却が完了したことなどによるものです。

圧縮機製品では、OEM先の需要拡大に加えて装置メーカー及び販売代理店開拓を継続しており、オイルフリー圧縮機の売上が伸長しました。

塗装機器製品では、前連結会計年度に販売を開始した自動車補修市場向け新型スプレーガンが引き続き好調に推移したことにより売上が伸長しました。

米州

売上高は1,629百万円（前年同四半期連結累計期間対比22.3%増）、セグメント利益は159百万円（同3.5%増）となりました。利益の増加割合が減少した要因は、主にアメリカにおいて利益率の高い塗装機器の販売比率が減少したことなどによるものです。

圧縮機製品では、車両搭載向け圧縮機の販売が回復傾向にあるアメリカに加え、ブラジルにおいても新規開拓先からの需要の増加を受けて売上が伸長しました。

真空機器製品では、当第1四半期連結会計期間よりアメリカの真空機器販売店から販売事業の一部を取得した効果や納期面での優位性による他社製品からの切り替え需要の拡大により、売上が伸長しました。

塗装機器製品では、エアブラシの販売は減少したものの、工業塗装市場の開拓及び自動車補修市場向けスプレーガンの販売は堅調に推移したことで、売上は伸長しました。

中国

売上高は2,907百万円（前年同四半期連結累計期間対比25.3%増）、セグメント利益は135百万円（同28.3%増）となりました。

圧縮機製品では、前連結会計年度に引き続き上海斯可絡圧縮機有限公司の輸出販売が好調に推移したことやリチウムイオン電池製造向け圧縮機の需要が拡大したため、売上が伸長しました。

真空機器では、半導体製造関連向け及びリチウムイオン電池製造向け真空ポンプの売上が伸長しました。

塗装機器製品では、ゼロコロナ政策転換後の需要の回復が遅れが見られたことで、売上は減少しました。そのほか、中級レンジスプレーガンについてはECサイトでの拡販に注力してまいります。

塗装設備製品では、前連結会計年度において企業の設備投資に慎重な姿勢が見られたことから期初の受注残高が不足していたことで売上は減少しました。

その他

売上高は2,174百万円（前年同四半期連結累計期間対比3.1%増）、セグメント利益は317百万円（同2.0%増）となりました。

圧縮機製品では、韓国において食品及び薬品製造向けオイルフリー圧縮機の売上が好調に推移しました。

塗装機器製品では、主に東アジアにおいて売上が堅調に推移しました。

③財政状態の分析

資産は、流動資産が37,097百万円（前連結会計年度比0.9%増）となりました。これは主に、「原材料及び貯蔵品」が824百万円増加したことなどによるものです。固定資産は23,364百万円（同0.0%増）となりました。これは主に、「のれん」が121百万円増加したことや「投資有価証券」が147百万円減少したことなどによるものです。その結果、総資産は60,461百万円（同0.5%増）となりました。

負債は、流動負債が11,348百万円（同3.2%減）となりました。これは、主に「賞与引当金」が431百万円減少したことなどによるものです。また、固定負債は、3,079百万円（同2.6%減）となりました。これは主に、「その他」に含まれる長期借入金が83百万円減少したことなどによるものです。その結果、負債合計は14,427百万円（同3.0%減）となりました。

純資産は、46,033百万円（同1.7%増）となりました。これは主に、「利益剰余金」が481百万円増加したことなどによるものです。また、純資産より非支配株主持分を除いた自己資本は40,836百万円となり自己資本比率は前連結会計年度末の66.6%から0.9ポイント増加し67.5%となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の連結業績予想及び配当予想は、2023年5月9日に公表しました予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,512	14,645
受取手形及び売掛金	9,102	9,203
商品及び製品	6,842	6,472
仕掛品	1,261	1,063
原材料及び貯蔵品	3,740	4,564
その他	1,693	1,616
貸倒引当金	△377	△467
流動資産合計	36,773	37,097
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,590	5,551
その他（純額）	6,870	7,114
有形固定資産合計	12,461	12,665
無形固定資産		
のれん	757	879
その他	2,447	2,506
無形固定資産合計	3,204	3,385
投資その他の資産		
投資有価証券	5,464	5,317
その他	2,243	2,006
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	7,696	7,313
固定資産合計	23,363	23,364
資産合計	60,136	60,461

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,355	5,497
短期借入金	908	928
未払法人税等	888	587
賞与引当金	844	413
その他の引当金	268	212
その他	3,452	3,709
流動負債合計	11,719	11,348
固定負債		
退職給付に係る負債	1,188	1,216
役員株式給付引当金	181	193
その他	1,791	1,668
固定負債合計	3,161	3,079
負債合計	14,881	14,427
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,354	3,354
資本剰余金	1,008	1,008
利益剰余金	34,282	34,764
自己株式	△1,179	△1,179
株主資本合計	37,466	37,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	527	668
為替換算調整勘定	2,034	2,220
退職給付に係る調整累計額	△3	0
その他の包括利益累計額合計	2,558	2,888
非支配株主持分	5,229	5,197
純資産合計	45,255	46,033
負債純資産合計	60,136	60,461

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	9,999	12,175
売上原価	5,613	6,621
売上総利益	4,385	5,554
販売費及び一般管理費	3,564	4,284
営業利益	820	1,269
営業外収益		
受取利息及び配当金	42	60
為替差益	344	463
持分法による投資利益	74	188
その他	33	41
営業外収益合計	493	753
営業外費用		
支払利息	13	12
その他	9	9
営業外費用合計	22	22
経常利益	1,291	2,001
特別利益		
固定資産売却益	2	2
特別利益合計	2	2
特別損失		
固定資産除売却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	1,293	2,003
法人税、住民税及び事業税	263	398
法人税等調整額	59	45
法人税等合計	323	444
四半期純利益	969	1,559
非支配株主に帰属する四半期純利益	160	183
親会社株主に帰属する四半期純利益	808	1,376



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	969	1,559
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	140
為替換算調整勘定	1,056	293
退職給付に係る調整額	2	2
持分法適用会社に対する持分相当額	149	30
その他の包括利益合計	1,180	467
四半期包括利益	2,149	2,026
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,677	1,705
非支配株主に係る四半期包括利益	472	321

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役及び執行役員に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は、2019年6月25日開催の第73期定時株主総会決議に基づき、当社の取締役（監査等委員である取締役、及びそれ以外の取締役のうち社外取締役であるものを除く。）及び取締役を兼務しない執行役員（以下、「取締役等」という。）を対象に、中長期的な業績の向上と企業価値の増大、株主重視の経営意識を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託（BBT）」（以下、「本制度」という。）の導入をしております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が設定する信託（以下、本制度に基づき設定される信託を「本信託」という。）が、当社より拠出する金銭を原資として当社株式を取得し、本信託を通じて取締役等に対して、当社が定める株式給付規程に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭（以下、「当社株式等」という。）が給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

(2) 信託に残存する当社株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価格（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。前連結会計年度末における自己株式の帳簿価格は173百万円、株式数は174,200株であり、当第1四半期連結会計期間末における自己株式の帳簿価格は173百万円、株式数は174,200株です。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	日本	欧州	米州	中国	その他 (注)	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3,315	1,737	1,236	2,067	1,641	9,999
外部顧客への売上高	3,315	1,737	1,236	2,067	1,641	9,999
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,735	53	95	252	468	2,606
計	5,051	1,790	1,332	2,320	2,109	12,605
セグメント利益	490	136	153	105	311	1,197

(注)「その他」の区分は、台湾、インド、タイ、韓国、ベトナム、インドネシア、オーストラリア及び南アフリカの現地法人の事業活動です。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,197
全社費用(注)	△246
セグメント間取引消去	△130
四半期連結損益計算書の営業利益	820

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	日本	欧州	米州	中国	その他 (注)	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	4,146	2,131	1,554	2,610	1,733	12,175
外部顧客への売上高	4,146	2,131	1,554	2,610	1,733	12,175
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,095	219	75	296	440	3,127
計	6,241	2,350	1,629	2,907	2,174	15,303
セグメント利益	770	324	159	135	317	1,707

(注)「その他」の区分は、台湾、インド、タイ、韓国、ベトナム、インドネシア、オーストラリア及び南アフリカの現地法人の事業活動です。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,707
全社費用(注)	△280
セグメント間取引消去	△156
四半期連結損益計算書の営業利益	1,269

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「米州」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間に米国の当社連結子会社であるANEST IWATA Americas, Inc. が、真空機器製品の販売事業の一部を取得しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は165百万円であります。